

◆ photoshop の場合 ◆

● サイズと解像度



ドキュメントサイズ(天地左右 各 3mm ずつ大きく)

例) 仕上がりサイズ 100 × 148

↓
ドキュメントサイズ 106 × 154

解像度

カラー原稿 : 350dpi

モノクロ原稿 : 600dpi ~ 1200dpi

ドキュメントを新規作成する際には、仕上りサイズに天地左右(上下左右)それぞれ 3mm ずつ(計 6mm) 大ききしたサイズで作成して下さい。

→この3mm は仕上がりサイズに断裁した際、紙の地色が出ないようにする為の塗り足し分となります。裁ち落としのあるデザインの場合、特に必要になってきます。

解像度はカラー原稿の場合は 350dpi /モノクロ原稿の場合は 600dpi ~ 1200dpi をお願い致します。

Web 用の画像では 72dpi で問題がないのですが(パソコンの画面上で確認する分には問題ありません)、72dpi の画像を印刷致しますと、かなり粗いモザイクがかかったかのような仕上りになってしまいますのでご注意ください。

● カラーモード



データ作成時はフィルタ機能を使用するために RGB モードで作業されるかと思いますが、データご入稿時には「CMYK カラーモード」へ変換をお願い致します。モノクロ原稿の場合は「モノクロ 2 階調」または「グレースケール」でご入稿下さい。(イメージ→モード→ CMYK カラー or モノクロ 2 階調/グレースケール) → RGB モードは CMYK カラーモードに比べ、色域が広い為色が鮮やかに表示されます。そのため CMYK カラーモードに変換すると色がくすんでしまう場合が多くなってしまいます。(例えば、青が少し紫がかった青になってしまう等) 印刷時には機械の特性上 RGB で作成されたデータは CMYK の範囲内で表現できる近似値に置き換わるので、あらかじめお客様の方でご変換して頂き、色の確認後ご入稿下さい。

● 塗り足しとテキストの位置



塗り足しのあるデータを作成される際は、必ずドキュメントサイズいっぱいまで色や画像がある様にして下さい。仕上りサイズまでしかデータを作成されていないと、仕上げた際に紙の地色が見えたり見えなかったりする商品が出来てしまいます。

→印刷時や仕上げ断裁時に起こってしまう微妙なずれが吸収できないので、塗り足しが必要になってきます。

テキストや切れてしまうと問題があるデザインは、仕上りサイズより内側に配置して下さい。

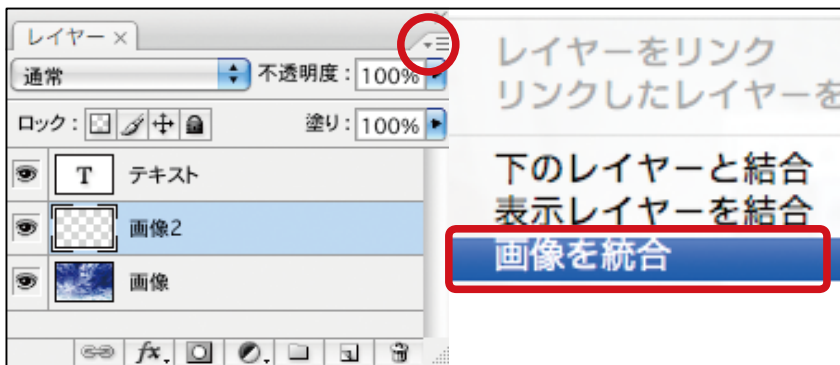
上図 1 : 仕上りサイズより内側にあるため問題ありません。

上図 2 : 仕上りサイズからはみ出してしまって「S と a」の文字が切れてしまうので NG です。

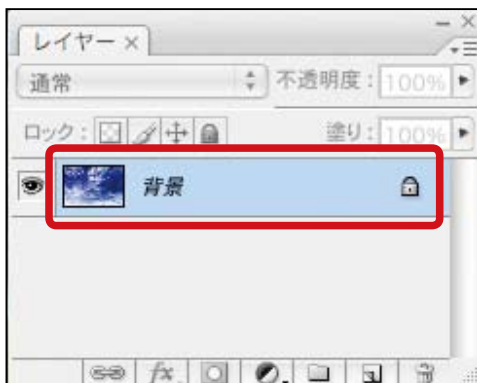
上図 3 : 仕上りサイズぎりぎりに配置されますと、文字が切れたり切れなかったりするため NG です。

※黄色枠は塗り足し(3mm)です。

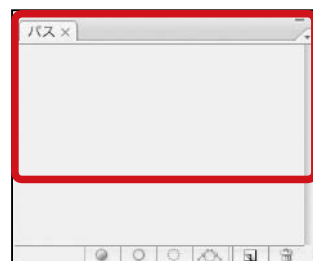
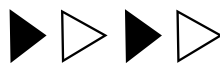
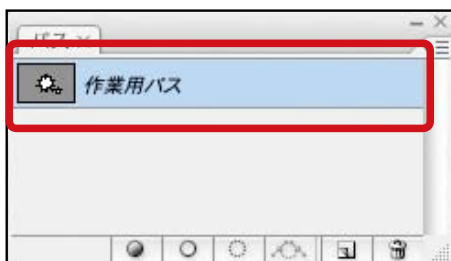
●レイヤー



複数のレイヤーを使用して作業を行なわれた場合、ご入稿時にはすべてのレイヤーを結合して下さい。(レイヤータブ右上▼→画像を統合)
 →レイヤーを結合されていませんと、「テキストデータが残ったままだったためレイアウトが崩れてしまった」、「印刷しないため非表示にしていたレイヤーの画像も印刷されてしまった」などが起こる可能性がございますので、以下のように画像を統合してご入稿下さい。

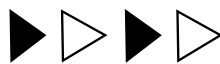
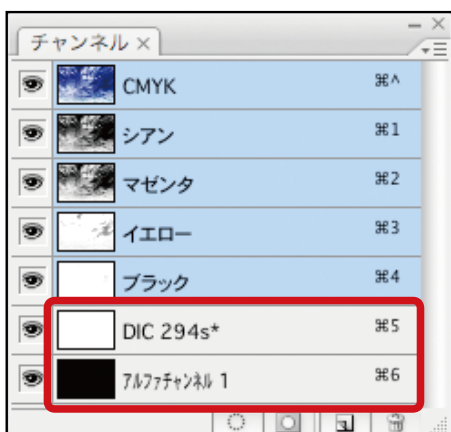


●パス



作業用パスは破棄し、何もない状態でご入稿下さい。

●チャンネル



ご入稿時には、CMYK以外のチャンネル(この場合、DIC294s*とアルファチャンネル1)は破棄して下さい。